

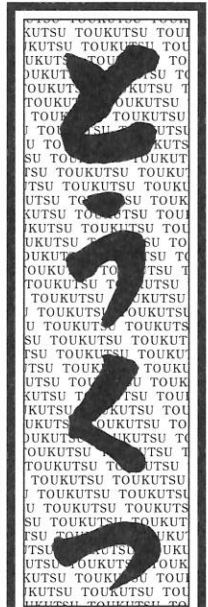
当日は設備のメンテナンス中の為、施設内での皮の「鞣し(なめし)」の研究工程は見学出来なかったが、研究設



2月8日(水)教育・研修委員会主催で、墨田区の「東京都立皮革技術センター」及び「福島化学工業(株)」の工場見学を実施した。
当日は12名の参加者が京成線八広駅に集合し、徒歩にて東京都立皮革技術センターに到着。
皮革技術センター到着後は「皮」から「革」になるまでの作業工程を紹介したビデオを鑑賞し、皮(革)の種類等の講義を受けた後、施設内にある技術試験場を見学した。

工場見学開催

皮革技術センター
福島化学工業(株)



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(352) 5656
(3月号)

午前中に皮革技術センターで観た映像の工程が、実際の工場で行われているのを見た参加者からは、鞣しのドラムが動いている光景に注目すると共に、各作業工程が非常に丁寧に行われている事に関心していた。
また、当日は工場の技術の高さが評価されている白いビッグレザー「オルガノホワイト」が鞣されているのを見学出来た。



備や皮(革)の強度等を検査する実験施設を、より詳しく丁寧に説明をして頂いた。
特に、皮(革)の強度等を検査する実験室では実際に検査設備を動かしながら説明をしてもらえた為、参加者から好評な感想や意見が多数出た。
昼食後は技術センター近くにある「福島化学工業(株)」で、実際の皮の鞣しの工程を見学した。

「こちらの革は常時生産稼働しているものではないので、見学出来たのは非常に幸運ですよ」とのお話に、貴重なものを見られて良かったとの意見が出ていた。
鞣しの工程を見学後は、革の「型押し」や「プリント」の加工についての説明があり、生産された革に直接触れながら改めて技術の高さに参加者一同とても驚いていた。
福島化学工業(株)の工場を見学した後、再び皮革技術センターに戻り、「革の取り扱い」と「注意点」をテーマとした講義を受講した。
主に革の色落ちや変色、カビの発生等についての説明に続き、それぞれの原因に基づいた予防や対処方法についての詳しい話を聴く事が出来た。
講義終了後、全体の質疑応答を行い、現地で解散となったが、参加者からは「革の知



シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

**親和会総会・
新年懇親会開催**
東靴協会親和会の平成二十八年度の総会及び新年懇親会が二月十六日(木)、箱根湯本温泉「河鹿荘」において17名が参加して開催された。

日頃の販売の現場にいると見聞き出来ない、皮の鞣し工程や販売する商品の素材がどのように製造されているのかを知る、良い機会だったとの意見も多数頂いた。
また、教育・研修委員会では、工場見学以外にもスタッフ指導やディスプレイ等のビジュアルマーケティング研修の開催を検討している。
その他にも多数の方が参加する企画を予定しているの待したい。



識向上に繋がり、売場での接客の際に活かせる。」「予想以上の技術の高さに驚くと同時に、皮を鞣す作業の大変さを実感した。」といった感想を多数いただいた。



松戸副会長の司会のもと、始めに小堤会長が「昨年の靴業界はシンエイの件以後大変なことが続きましたが、本年は酉年ということで羽ばたく年となることを願います。本日は温泉で英気を養い明日からの仕事につなげてくださいます。」と挨拶。続いて川上相談役が「本年は河鹿荘に会場を移し、贅沢な時間と広々とした温泉で、ごゆっくりくつろいでください。」と挨拶の後「乾杯!」の発声で新年懇親会へ入った。
美味しい会席料理を堪能し、カラオケで自慢の喉を披露し、楽しいひと時を送った。小澤理事の中締めで会はお開きとなった。
二次会は場所を同ホテル「バーディークラブ」に移して行い和気あいあいの中、ここでもカラオケ大会が続き、大いに盛り上がった。来年も一人でも多くのご参加を頂けるよう願います。

シューフィッター 既得者勉強会

平成29年2月21日(火)午前10時より当協会西村記念ホールにおいて、12名が参加して、シューフィッター既得者勉強会が開催された。

講師には日本靴小売商連盟シューフィッター講師の鈴木信行氏が担当し「確認しよう！パッキングの手法と問題点」と題して行った。

始めに佐宗専務理事より「本日の題はパッキングですが、毎日実践していることと思いますが、復習をしつつ新しい情報を身につけ、販売には勿論、部下の教育にも役立ててください。」続いて本日の講師の鈴木氏を紹介した。

鈴木講師は自分自身の経歴の話から始まり、現在は「都立城東職業能力開発センター台東分校製くつ科」の講師をしている。と自己紹介をしてから講義に入った。

まず、シューフィッターの基礎知識をテキストを元に骨格やアーチなど復習をするところからスタートした。

次の場合はどこが合わないのでしょうか。「幅がきつい」「踵が脱げやすい」「ハイヒールのヒールが抜ける」「内側部分にシワが出る」「爪先が上がる」原因は何でし

う？と質問を交え、わかりやすい講義内容となった。

パッキングの基本的な考えは、左右差を減少させたり、部分的な調整で足に合うようにすることだが、歩き方や歩行音を聞いたたり、お客様の声を聞きながら判断し調整を行う。この場合、どこをどのようにに調整したのかを説明し、同意を得ることが重要だ。



使用するパットは、中足骨パット・アーチパット・その他各種あるが、それぞれの使用方法の説明がなされた。

特に足のアーチ(内アーチ・外アーチ・横アーチ)を考慮し効果的にパッキングを行うことが大切だ。と説明。

最後に、足の形も時代とともに変化する。開張足、薄い足、ヒールカーブ、体重の負荷によるアーチの変化など説

明があった。

パッキングワークは最初から合っていない靴を調整して売るためではなく、調整により更に足に合い履き心地を上げる技術だ。この技術を武器に販売に役立てていただきたい。お客様をファンにして頂き、お客様を増やして下さい。と結んだ。

その後、質疑応答が行われ、「音を聞く。とはどういうことでしょうか？」の問いに、硬い路面を歩いていただいて、高いコンコンという音は正常だが、ボコボコなど鈍い音は合っていない場合が多い。など音で判断ができる。と説明。他にもパットの挿入位置や注意事項等質問に答えていた。熱心な質問が続き、二時間以上に亘る勉強会は終了した。

日本靴小売商連盟 第四十八回総会開催

平成29年1月27日(金)午前11時より当協会西村記念ホールに於いて、日本靴小売商連盟第48回通常総会が開催された。

司会の栗原茂常務理事より出席者19名(内委任状7名含む)で総会が成立する旨を宣言。

小堤会長の挨拶に続き、

司会者が規約第13条により会長が議長を務めるとの説明、小堤会長が議長席に着いた。

議長は議事録氏名人に松戸福治氏と栗原昭宣氏を推薦し承認され、議事に入った。

第一号議案

靴まつり事業 平成28年度収支報告並びに平成29年度実施要領について

事務局より靴まつり事業収支報告に基づき詳細に説明があった。

約80万円程の赤字が出るため、役員会で検討した結果、平成29年度からは応募はがきを一枚20円で購入していたいただきたいと報告。参加店1支店あたり最低100枚、ポスター2枚配布。1店舗は必ず参加していただき、会費、参加費の入金確認後発送する。と説明。満場一致で承認を得た。

第二号議案
会費規定について
事務局より役員会で検討された会費規定(案)の実情を踏まえ詳細に説明した。

規定(案)を議場に諮り、原案通り承認を得た。

第三号議案
平成28年度事業報告並びに決算報告書承認の件
平成28年度事業報告書を

平成28年度事業報告書を

事務局佐宗秀行専務理事より詳細に報告がなされ別途、靴まつり事業について日本靴小売商連盟として開催された経緯ほかを矢代裕夫顧問より詳しく説明があった。

引き続き、平成28年度決算報告書を説明、須藤教夫監事から監査報告がなされた。議長は、その承認を議場に諮り承認決定した。

第四号議案

平成29年度事業計画案並びに収支予算案承認の件

平成29年度事業計画案及び収支予算案を事務局より説明。議長が補足説明し、議場に諮り承認決定した。

第五号議案

役員改選の件

今期役員改選期に当たり、全役員重任の承諾を得た配布名簿を示し、承認を得た。



業界情報

MICAM状況

過日、栗原茂副会長がイタリア・ミカムで開催された展示会に行かれました。展示会の様子と街の様子レポートが左記の通り寄せられました。

レディス

今秋冬はスニーカーを中心としたカジュアルトレンドから、クラシック、エレガントという傾向が出てきそうです。



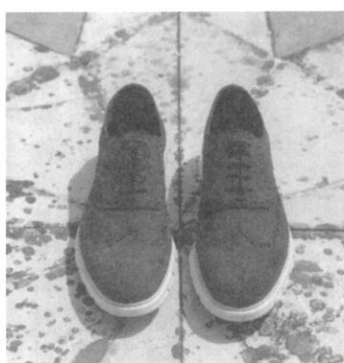
昨年と比べて、パンプス、フラットシューズ、ショートブーツという大きな流れは変わらないが、ロングブーツの商談が増えている。ラストは

ポインテッドトゥを中心に、一部スクエアトゥ、ラウンドトゥも見られた。ヒールはチャンキーヒールが中心。カラーは黒の比重が増加している。

メンズ

ドレスシューズのデザインはダブルモンク、ウイングチップ、ストレートチップ、それにブーツという印象。カラーはネイビー、バーガンディ、グリーンといった差し色は続いている。新しい傾向としてはアウトソールを厚くしたカジュアルシューズが出ている。

スニーカーは、ナイキ、アディダスといったスポーツシューズと重ならないヨーロッパの靴メーカーらしさのあるスニーカーは継続。



ミラノ市内の

エレガンス中心の老舗靴店

レディス

ゴージャス感のあるサンダル、スニーカー、低寸のカジ

ユアル、パンプスで構成。同系列のヤング店ではヒールの高いサンダルが目立った。スニーカーではゲス、ディアドラ、ホーガン、プリミエータが並ぶ。

メンズ

ドレスシューズは陳列量が多少減り、ドリス&ガッパ、ナ、トッズ、ホーガン、ディアドラ、プリミエータといったスニーカーが増えている。ヤング店ではドクターマーティン、ブランドストーンのカジュアル、スニーカーではディアドラ、アルマーニジーンズ、ロット、ポールスミスが並んでいた。

中国に奪われた雇用を取り戻すか？

高い商品・低い賃金

アメリカのトランプ大統領は「中国に奪われた雇用を取り戻す」と言っている。本当に中国はアメリカの雇用を奪ったのか。そして、それを取り戻すことはできるのか？

中国は「世界の工場」と言われているが、多くはOEM生産である。例えば、アメリカのウォールマートがPB商品の価格と仕様を決定し、中国の工場に発注

する。確かに、中国工場では雇用が発生したかもしれない。それをアメリカに取り戻したいのなら、アメリカの工場に発注すればいい。しかし、現在のアメリカ国内に中国ほどのスケールと価格競争力のある工場は存在しない。また、アメリカが定めている最低賃金と中国の最低賃金は格差がある。アメリカの顧客が同じ水準の製品を二倍の価格で購入するだろうか。あるいは、アメリカ国内の工場労働者が中国人並みの賃金で働くだろうか。あるいは、出稼ぎ労働者に依存するのだろうか。

アメリカ西部の綿花畑で綿を収穫しているのは、メキシコからの出稼ぎ労働者だ。もし、メキシコとの国境に万里の長城を築けば、アメリカの農業は衰退してしまうだろう。

ロボット活用の省人型工場

中国メーカーも先進国市場を優先しているわけではない。欧米市場向けの高級品は品質管理も厳しく、生産効率が悪い。むしろ、大量生産ができる中級品の大量生産を目指している。ター

ゲットとなる市場は、東南アジア、アフリカなど低所得者層向けの市場だ。

中国の人的費用が上がっている。中国メーカーも工場の海外移転を進めている。そこから、アジアやアフリカ市場に輸出しているのだ。アメリカが中国製品の輸入を禁止したとしても、東南アジアの工場からの輸出が増えるだけだ。多分、アメリカの雇用は増えないだろう。

すでに、一部のアメリカ企業は中国工場を閉鎖して、アメリカ国内に回帰している。しかし、それらの工場はロボットを最大限に活用した省人型工場なのだ。アメリカの製造業が活性化しても、雇用が増えるとは限らない。

中国はアメリカの雇用を奪ったのではない。アメリカ人が嫌がる低賃金労働を肩代わりしたにすぎない。そもそもアメリカ国内工場の閉鎖を決めたのは、アメリカ企業の経営者と株主である。トランプ氏は、彼らのマネーゲームのルールを変えられるのだろうか。

(F W誌2月号より)

理事会・支部連絡会

だより

平成二十九年二月二十三日(木)
午後二時、西村記念ホール

出席者24名

小堤会長の「本日は比較的暖かいようです。築地の移転問題はどうか。北朝鮮関連の報道など耳にすると、日本はつくづく平和だと感じます。また、火災が多く発生しているようです。アスクルの倉庫火災を見ると、文明や科学がこれだけ進歩していても、まだまだ不備な点もあるのだなと感じました。この週末は初めてのプレミアムフライデーですが、景気浮揚になると良いですね。」と挨拶。

続いて松戸副会長の司会で議事が進められた。

一、「靴の記念日」について
佐宗専務理事より3月15日の記念日式典についての説明があり、出席の要請をした。

田中理事より「記念日催事」について例年通り小冊子の配布と、応募式の抽選で三百名様に五千円のお買い物券が当たる等、イベントの詳細な説明があった。

二、シューフィッター既得者勉強会の結果報告について
佐宗専務より2月21日(火)に行われた標記勉強会は、講師に鈴木信行氏、参加者12名で熱心に開催された。と報告。(二面参照)

三、親和会総会の報告について
松戸副会長より場所を河鹿荘に変更して行い、内容もとても良かった。続いて川上相談役より詳細な説明があった。(二面参照)

四、シューフィッター養成講座
FHA委託講座について
佐宗専務より4月26、28日に両国・国際ファッションセンター11階の広い会場で標記講座が開催される。受講希望者は3月末までに事務局まで申し込むよう要請した。

五、大田区消費者講座の報告について
小堤会長より1月31日(火)午後2時より大田区立消費者センターで「靴と健康・自分に合った靴でハッピーライフ」と題して行われた消費者講座は、大田区在住の勤の方々34名が参加して熱心に開催された。と、詳細な説明があった。

六、工場見学の報告について
栗原(昭)副会長より2月8日に12名が参加して開催された工場見学について詳細な説明があった。(二面参照)

七、共済生命保険について
事務局田中早映子氏より、標記の保険料について説明。例年は年齢の関係で5年ごとに保険料が変更(値上げ)になっているが、今回は団体の条件を一部満たすことができず、全員が保険料変更の対象となる。平成29年4月(3月集金分)より値上げになる。また、領収書などの書類も新たになる。と説明。

八、その他
栗原茂副会長より、イタリアミラノのミカムで開催された展示会の情報が伝えられた。特に大きな変化はなかったが、今まで少なかった、ロングブーツが多かった、商談している姿

も目立った。今年の秋冬は期待ができるのでは。アパレル関係のファッション情報によると、今年はエレガント、クラシックの流れが期待できるとのこと。その影響もあるのではないかと。仕入れの参考にしてください。と報告。(三面参照)

続いて佐宗専務理事より今後のスケジュールが報告された。

東京都中小企業景況調査(1月)
業況:ほぼ横ばいで推移
見通し:わずかに上向く

卸売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	1 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)	
875	377	43.1%	悪い -100	良い 0 100	悪い -100	良い 0 100
衣料・身の回り品	1. 男 子 服					
	2. 婦 人 ・ 子 供 服					
	3. 靴 ・ 履 物					
	4. か ば ん ・ 袋 物					
	5. 装身具・身の回り品					

小売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	1 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)	
875	301	34.4%	悪い -100	良い 0 100	悪い -100	良い 0 100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具					
	2. 男 子 服					
	3. 婦 人 服					
	4. 子 供 服					
	5. 靴 ・ 履 物					
	6. か ば ん ・ 袋 物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時 計 ・ 眼 鏡					
	9. ジュエリー製品					

景況についてのアンケート結果
(対象月…29年2月)

▶ 全体的な業況					
良い	0	0.0%			
悪い	7	87.5%			
変わらず	1	12.5%			
▶ 売上げ					
前月比					
増えた	0	0.0%			
減った	7	87.5%			
同じ	1	12.5%			
前年同月比					
増えた	1	12.5%			
減った	4	50.0%			
同じ	3	37.5%			
▶ 販売価格					
前月比					
騰貴した	0	0.0%			
下落した	2	25.0%			
同じ	6	75.0%			
▶ 販売経費					
前月比					
増えた	1	12.5%			
減った	1	12.5%			
同じ	6	75.0%			